発行／青森県立弘前南高等学校 父母と教師の会　編集／広報委員会　弘前市大字大開4-1-1　☎0172-88-3236　印刷／小野印刷　平成29年２月21日発行

広報 みなみ

MINAMI Vol. 127

題字揮毫　加賀谷　雪泉

一隅を照らす人たれ

校長　三上　隆裕

第五十二回生の皆さん、卒業おめでとう。今春も、二百三十四名の生徒が本校を卒業し、新たな世界へと巣立っていきます。

卒業生の皆さんは、進路面では、国公立大学をはじめとする上級学校への進学、そして、部活動では、空手道部の男子個人組手でのインターハイ出場や視聴覚部・写真部・自然科学部の全国高総文祭広島大会への出場など、運動部・文化部ともによく活躍し、本校のモットーである「文武両道」を、しっかりと実践してくれました。

これから巣立つ皆さんに、期待を込めて次の言葉を贈ります。それは「一隅を照らす人たれ」です。「一隅を照らす」というのは、千二百年前の平安時代初期、比叡山の開祖となった伝教大師、最澄の言葉です。最澄は、比叡山での若い修行僧に対して「径寸十枚これ国宝に非ず、一隅を照らすこれ則ち国宝なり」と説いています。「径寸」とは金銀財宝のことで、これはいくらあっても国の宝とはならない。「一隅を照らす人」こそが国の宝であるという意味です。「一隅」とは、「自分自身が今置かれている立場」を示します。したがって、「一隅を照らす人」とは、今置かれている状況の中で、精一杯努力し、明るく光り輝いている人という意味です。

例えば、演劇の舞台を考えてみましょう。主役や脇役を演ずる人など、数多くの役者さんがいます。また、舞台装置や照明、音響などの管理、そして原作・脚本を書く人や舞台監督も必要です。舞台を成功させるためには、それぞれの置かれている立場で、一人ひとりが、自分のできる最大限の力を発揮する必要があります。

私の研修先であった㈱富士電機ホールディングスでは、「エンプロイアビリティ」を高めようということが盛んに言われておりました。これは、エンプロイ（雇用する）とアビリティ（能力）を組み合わせた言葉であり、「雇用され得る能力＝自分が雇用されている価値」を意味します。したがって、与えられた仕事をただこなしているだけでは「エンプロイアビリティ」を高めることはできません。与えられた仕事に一生懸命に取り組み、日々努力を重ねていく過程で自己を確立し、誰からも必要とされ、あの人に任せておけば間違いないという、エンプロイアビリティを高めていくことができます。「一隅を照らす人」は、自然に光り輝き、周囲の人々をも明るく照らしていきます。

卒業生の皆さんは、これからいろいろな立場で、様々な役割を果たしていくことと思います。「一隅を照らす人たれ」、ぜひ周囲から頼りにされる、光り輝く人になってください。

笑うからこそ結果が出る

教頭　菅原　文子

私たちが充実している時、心に満たされたエネルギーにより、「笑み」が生まれる。

シドニーオリンピックのマラソンレースで、金メダルを獲得した高橋尚子選手は、緊張で顔がこわばる選手が多い中、好きな歌に合わせて楽しげにダンスをする姿が印象的だった。きっと、それまでのトレーニングに自分の全力を尽くしたという自信が笑顔を生んだのだ。つまり、スタート前に「勝ち」を手にしていたといえる。そして、当然のように「金メダル」はついてきたのである。

一生懸命やったのに、結果的に相手に勝てず、悔しくて涙が出ることもあるだろう。そんな時は心に「笑み」があるかどうか確認すること。充実感があれば、結果の「負け」に泣いたとしても気持ちはすっきりさわやかでいられるはずである。

笑うから結果が出るのである。笑うことでドーパミンやセロトニンの分泌が起こり循環器系や筋骨格系の働きが活性化することがわかっている。

これからの人生、勝利を目指し「笑み」を忘れず生きていくことを願っている。

目標

三年次委員長　三上　秀樹

ご卒業おめでとうございます。皆さんは弘前南高校でいろいろな事を学び、そして多くの人と出会い、充実した三年間だったのではないでしょうか。新生活ではそれぞれ違う道に進みますが、目標をしっかりと決めて歩んで行ってほしいと思います。目標なくして前に進むことはできません。この先いろいろな人生があると思いますが、その道を切り開いて頑張って生活してほしいです。今後の皆さんの活躍を祈っています。

五十二回生の皆さんへ

育励会代表理事　藤田　隆彦

病気にはかかるまいとことがおかしいよ」と言われ、そのまま大病院へ。一か月ほどの入院となって七十歳。七十歳である。第一に健康、そして友人を大切にしてください。昨年暮れ、偶然にテレビで『ビリギャル』という映画を見た。成

明日死ぬかもよ?

31HR担任　石戸　康幸

めでたい門出にドキッとさせるな!と思うかも知れませんが、これは、私も同じようにドキッとさせられた、コンビニで見かけた本のタイトルです。元ネタという訳でもないかも知れませんが、インドの独立運動指導者ガンディーにも「明日死ぬかのように生きよ。永遠に生きるかのように学べ。」という言葉があります。若い皆さんにはピンと来ないかも知れませんが、この年齢になると沁みる言葉です。一日を大切に生き、学び続けよう。

祝 卒業

32HR担任　三橋　敬勝

ご卒業おめでとうございます。「人の運命は出会いで決まることが多い。その出会いをどれだけ大事にできるかどうかである」という人もいます。共に楽しみや苦しさを分かち合えたクラスメイト、部活動における先輩後輩、叱咤激励してくれた人、偶然出会った人など色々な形で人に出会うことができたと思います。その出会った「人」こそが財産になると思います。多くの事を学ばせてくれた人に感謝しましょう。

日々成長

33HR担任　亀田千代美

生徒の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんはこれから、それぞれ自分の決めた道を歩んでいきます。進学、就職と様々でしょうが、〈どんな人間も、自分が思っている以上のことができる。There is no man living who isn't capable of doing more than he thinks he can do.（ヘンリーフォード）〉という言葉を贈ります。自分で限界を決めつけず、どんどん可能性を広げていってください。自分で決断し、納得のいく人生を歩んでほしいと思います!

卒業生に送る言葉

五十二回生の皆さんへ

錫杖会会長　土谷　勝規

五十二回生の皆さん、卒業おめでとうございます。

三年間、通いなれた校舎に別れを告げて、南高校で培った経験、育んだ力を生かし、さらなる飛躍を求めて今、羽ばたこうとしています。青春真っ只中の皆さんに一言だけ「少年老い易く学成り難し、一寸の光陰軽んずべからず」をはなむけの言葉として送ります。人生には様々な困難、岐路が待ち受けています。しかし、人間は一人では生きていけません。そんな時、旧友、学友は何かの支えになれるのではないでしょうか。同窓会もその一つです。弘前南高校、もしくは錫杖会ＨＰをご覧ください。皆さんには一万七千名の同窓生がいます。何時でも、お待ちしています。

卒業生に贈る言葉

父母と教師の会会長　三上　昌一

ご卒業おめでとうございます。入学試験を見事突破し、弘前南高等学校の門をくぐる姿を見たのがついこの間のように感じます。卒業までの三年間、勉学、部活動に励み充実した日々を過ごして来られたと思いますが、卒業後の進路によっては、親元を離れて暮らす人も少なくないと思いますが、その時になってはじめて様々な人に支えられて育ってきたことを感じるかもしれません。

困難や立ちふさがる障害など、これから何が待ち受けているかわかりません。その度に二者択一の選択に迫られることになります。もちろん親や友人、恩師など周囲の人に相談は可能ですが、最終的には自分で判断を下さなければなりません。その素地は充分身についているはずです。

人生の中で恐らく一番光り輝く大切な三年間の経験を時々思い起こし、自信を持ってそれぞれの道を歩んでください。

耐雪梅花麗

34ＨＲ担任　寺内　清裕

高校三年の冬、ふと見つけた「耐雪梅花麗」の言葉を気に入った私は、この五文字を書いた小さな紙をお守りにして、試験会場に向かいました。大学入学後にこの言葉の出典が西郷南洲（隆盛）の漢詩の一節であると知り、さらに最近、元広島東洋カープ黒田博樹投手の座右の銘であることも知りました。つらいとき、ヒトではなくてコトバにすがる。それもまた良いのではないでしょうか。

卒業おめでとうございます

35ＨＲ担任　中畑二三雄

五十二回生のみなさん、卒業おめでとうございます。三年前の入学式ではまだ中学生らしさが残る雰囲気でしたが、勉強と部活動の日常、体育大会や南高祭、修学旅行などの学校行事、受験を通して、すっかり高校生らしい顔つきになっていました。これからも様々なことに挑戦し続けるみんなの姿を思い浮かべると、とても頼もしい気持ちになります。高校卒業後は大きな世の中で活躍することを期待しています。

熱き魂をその胸に燃えろ

36ＨＲ担任　竹浪みゆき

君たちと過ごした高校生活はいろいろなことの連続でした。でも、私にとってはその全てが大切な宝物になりました。ありがとう。もし、これからの人生の中で失敗があっても素直に現実を受け入れ、目先の失敗よりも一段上の大目標を見据えることが大切です。熱き魂をその胸に夢に向かって人生の階段を成功と失敗を繰り返しながら一段一段昇っていくことで、人生を豊かなものにしてくれると信じています。

修学旅行

10月4日～8日、2年次生が修学旅行へ行きました。京都、奈良の寺社仏閣を見聞して視野を広げ、大阪のＵＳＪ（ユニバーサル・スタジオ・ジャパン）を大いに楽しみ、有意義な時間を過ごしてきました。

前庭の桜

弘前南高校　旧教職員　佐藤　仁
（昭和四十～五十三年在任）

私が弘前南高校を離れたのは、昭和五十三年のこと。以下は在任中の思い出の一つである。その頃、校地の周囲には一回生が卒業記念に植えたイタリアポプラが育ち始め、旧校舎の周りにはサワラの類いが植えられていた。しかし、前者の成長は早く、日陰や害虫、電線との関係で姿を消し、後者は雨漏りがした際、屋上に木造の屋根をかけると落雪で折れてしまい、緑の学習環境は中々出来なかった。

当時、地歴研究部があって活発に活動していた。彼らが二年生の頃、某放送会社のアルバイトを引き受けた。テレビコマーシャルと商品販売効果の調査だった。結構研究的な作業で収入も良かった。…部員はその収入で平泉中尊寺の見学に行った。それでも若干の残金ができたのである。彼らはその残金でソメイヨシノの苗を買った。植栽は昭和四十年三月七日、卒業式の予行が終わった後に行った。植樹した場所は第一体育館前から道路沿いに三つの門の先までと中庭に計十本だった。

彼らの卒業式は植樹の翌年のこと。全員大学に合格したが、桜の木の方はバスの回転場だったことと、地下の状況が予想以上に悪く木は育たなかった。ところがである。旧事務室の窓から見える門の右側に一本残っていたのに気付いた。注意して見ると前庭の池の後ろ道路側一本育っていた。私にとって大きな喜びだった。

あれから四十年余り、木を植えてくれた部員諸兄が昨年六十才定年を迎え、新しい道を歩き始めた。木は人を育てると言うが、桜を植えてくれた諸兄は立派な人生を過ごしてきた。一部の方々と昨春会うことができた。これからも元気で過ごしてほしい。今春は母校で花見をしよう！と年賀状に記されていて、楽しみにしている昨今である。弘前南高校のますますの発展と旧部員諸兄のいよいよの活躍、そして桜樹が美しい花を咲かせ続けてくれるように祈念する。部員諸兄には卒業後も随分お世話になった。貴重な桜をめぐる思い出をありがとう。

えんそく

10月6日、3年次生は奥入瀬渓流・十和田湖、1年次生は鰺ヶ沢キャンピングパークへそれぞれ遠足に行って来ました。自然を楽しみ、親睦を深め、今後の活力となりました。

素敵な音色に魅せられて

文化委員　對馬由美子

「天使すぎる」と話題になった、あのアルパ奏者の小野華那子さんをお迎えし、十一月に弘前パークホテルにて、第二回ＰＴＡ文化研修会「音楽の夕べ」が開催されました。約三十五名のご参加をいただき、小野華那子さんの奏でるアルパの音色に酔いしれました。アルパとは聞き慣れない楽器ですが、別名ラテンハープと呼ばれ、南米のパラグアイの楽器だそうです。小野さんは弘前市出身で、九歳からアルパを始め、青森県でただ一人のアルパ奏者です。本場パラグアイへ留学もしており、弘前発の可愛いアルパ奏者、今後も応援していきたいですね。当日は、私たちＰＴＡ世代にも馴染み深い中島みゆきさんやビートルズに童謡、南米パラグアイの軽快な曲等、たくさんの演奏を聞かせていただき、まさに天使が舞い降りてきた至福のひとときを過ごすことができました。

サイエンスセミナーⅠ

11月21日～22日、青森県総合学校教育センターにおいて、来年度SSHコースを希望する１年次生40名は理科の各分野（物理・化学・生物・地学）についての基礎基本を活用した応用実験や実習を通じて、思考力・判断力を育成してきました。また、レポート作成技術を学び、ポスターセッションを通して表現力を養いました。

平成28年度 部活動の記録

◆空手道部

平成28年度青森県高体連 空手道専門部 秋季大会

○男子　団体組手
二回戦　弘前南　5－0　光　星
三回戦　弘前南　0－4　青森北　《第三位》

○女子　団体組手
二回戦　弘前南　2－1　五　高
三回戦　弘前南　1－3　明の星　《第三位》

○女子　個人形
工藤あす香《第三位》（東北選抜出場決定）
金指　由維《第二位》（東北選抜出場決定）

第30回東北高等学校 空手道選抜大会

○女子　個人形
一回戦　工藤あす香　3－2　佐藤明日香（福島・勿来工業）
二回戦　工藤あす香　0－5　高橋　来翠（秋田・秋田工業）
二回戦　金指　由維　2－3　長谷部里奈（福島・学法福島）

◆バドミントン部

平成28年度青森県高等学校 新人バドミントン大会

○男子団体
一回戦　弘前南　3－0　三本木
二回戦　弘前南　2－3　弘前東

○女子団体
二回戦　弘前南　2－3　青森西

◆バスケットボール部

平成28年度青森県高等学校 新人バスケットボール大会

○男子
一回戦　弘前南　86－71　三本木農業
二回戦　弘前南　58－79　八戸東

○女子
一回戦　弘前南　79－59　八戸商業
二回戦　弘前南　69－73　青森山田

平成28年度津軽地区高等学校 新人バスケットボール大会

○男子
一回戦　弘前南　73－121　弘前実業

○女子
一回戦　弘前南　75－35　柏木農業
二回戦　弘前南　36－74　弘前聖愛

◆サッカー部

弘前地区ミニサッカー大会

決勝戦　弘前南Ａ　3－4　東奥義塾Ａ　《準優勝》

◆バレーボール部

平成28年度青森県高等学校 新人バレーボール選手権大会

○男子
一回戦　弘前南　25－16　八戸西
　　25－22
二回戦　弘前南　16－25　五　工
　　15－25

○女子
一回戦　弘前南　25－18　青森東
　　25－12
二回戦　弘前南　25－0　田名部
三回戦　弘前南　12－25　三　沢
　　12－25

◆吹奏楽部

平成28年度全日本アンサンブルコンテスト

第41回青森県大会予選

打楽器四重奏　銀賞
サックス四重奏　銀賞
金管四重奏　銀賞

◆演劇部

平成28年度第37回 青森県高等学校総合文化祭

開会式での第二部交歓会
オープニングと演劇部門の紹介
（弘前中央高校と合同で行い、高い評価を得た。）

◆視聴覚部

第37回青森県高等学校総合文化祭

○アナウンス部門
最優秀賞　尾留川　楓（全国高総文祭出場）
優良賞　斗澤　実咲
優秀賞　小山内はるな（全国高総文祭出場）

○朗読部門
優良賞　齋藤　響

○ラジオ番組部門
優良賞「種を蒔く人」

○テレビ番組部門
優良賞「今を重ねて」

○研究発表部門
優良賞「マイクフレンド化計画」

第20回東北高等学校放送コンテスト

○アナウンス部門
最優秀賞　尾留川　楓

○朗読部門　入選　齋藤　響

○朗読部門
奨励賞　小山内はるな

発行／青森県立弘前南高等学校 父母と教師の会　編集／広報委員会 弘前市大字大開4-1-1 ☎0172-88-3236　印刷／小野印刷　平成29年２月21日